

公約実現に向け 活動開始

渡辺ゆり子活動報告

2007年5月20日
発行 山形県議会
日本共産党
地区委員
村山市小川町
山形市 4-13-15
電話 023(631)7103



県議選から一ヶ月余りしているところです。りが過ぎました。このご支援本当にありがとうございます。間、県都で十六年ぶりとございました。公りの日本共産党議席約や政策の実現に全獲得と女性県議の増力を尽くしてまいりまして取材が相次ぎました。また、引き続き市議選が行われ、日本共産党市議団三人の見を手紙で寄せて下全員当選を勝ちとるさったり、直接、改善ことができました。多してほしい点を訴えにくの方々から期待や来られた方もおられる。激励の音が寄せられます。こういつた声を反響の大きさにびびく大切にしながら、議員

活動に取り組んでいきたいと思ひます。

初議会は一六日でしたが、連休明けから世話人会へのオブザーバー参加や日本共産党県議団としての議会改革のための申し

入れなど、すでに活動を開始しています。市議団との連携もしながら、おおいに市民要求実現にがんばる決意です。



党派結成届け提出

四月二三日、渡辺ゆり子県議は、鶴岡市区選出の笹山一夫県議とともに党派結成届けを提出し、日本共産党山形県議団の一員となりました。他に自由民主党、山形県民クラブ、県政・公明クラブが届け出しています。

渡辺ゆり子県議 政務調査費の透明化など

議会改革の申し入れ

一日、日本共産党県議団として、県議会の高橋邦芳事務局長に議会改革に関する申し入れを行いました。申し入れ文書では「県議選では、政務調査費のあり方が争点になった。ただちに、県民の信頼にこたえる透明化が求められます。県民から大

きな批判がある海外支報告書に領収書添付を義務付けることや海外視察の中止、費用弁償を含む議員旅費の見直しを行うことなど六項目にわたる内容になっています。

県民の方々の期待に応えられるよう、今後とも力を尽くしてまいります。

県議会の動き

臨時議会

五月一六日(水)

一三日(火)

一三日で議長、副議長の選挙、各常任委員会の所属、特別委員会の設置など新しい県議会の体制がつけられます。

本格的な県政に関する議案審議は、六月から七月にわたる議会から始まります。

